

演題名:

リハビリテーション科医師が在籍することで実現した、多職種によるチーム作りについて

抄録本文:

【はじめに】当院は、大阪府三島郡に立地する唯一の病院である。総病床数は 117 床であり、内訳は一般病床 57 床、回復期リハビリテーション病床 40 床、地域包括ケア病床 20 床である。回復期リハビリテーション病床は平成 16 年に開設されたが、私が着任するまでリハビリテーション科医師が不在であった。私が着任し、新たな取り組みの一つとしてミールラウンドを立ち上げたため紹介する。

【対象と方法】当院回復期リハビリテーション病棟に入院している患者のうち、Alb 値 2.8 以下、BMI 15 未満、1 か月間での体重減少が 5%以上の 3 項目のうち 1 項目以上が当てはまる患者を対象とした。

ラウンドは 1 回/週であり、時間は昼食時を選んだ。また、Alb 3.3 以下、BMI 18 未満の症例に関しても 1 回/2 週の頻度でラウンドを行った。構成メンバーはリハビリテーション科医師、看護師、管理栄養士、作業療法士、言語聴覚士である。食形態・食事内容の見直し、補助食品の検討、食事姿勢、食事場所、リハビリテーションの訓練内容等に関しても、多職種で情報提供や議論を行うこととした。

【結果】過去にリハビリテーション科医師が不在であったため、NST としての取り組みしかなされていなかったが、リハビリテーション栄養に特化した内容となるように工夫を行い、リハビリテーションの訓練内容に関しての提案、自助具等の提案等も行った。また、場合によっては在宅での栄養管理を想定した討論も行い、家族様にその内容を伝達するようにした。MSW が参加することで、在宅での栄養管理をスムーズに進めることが期待できると思われるため、今後 MSW の参加も促していきたい